

第3回小金井市住宅マスタープラン策定委員会 意見対応シート

※セルに色をつけているところの回答は、7月2日の住宅マスタープラン策定委員会のときに説明します。

No	発言場所	資料	ご意見	対応	意見受領日	対応日	発言者
1	委員会内	資料1	古いマンションを維持していくための大規模修繕に対し、法的指導等が必要だと思われる。	東京都の管理状況届出制度に修繕計画が有・無というのがついている。「無い」場合には助言させていただく形で把握をさせていただくという仕組みになっている。(議事録P25)	3月22日	3月22日	榊原委員
2	委員会内	資料1	小金井市における市民の災害に対する意識という視点でも検討することが必要ではないか	基本目標2の「3 震災、災害に備えたまちづくりの形成」の施策内容でご意見があれば調整	3月22日	3月22日	榊原委員
3	委員会内	資料1	市民意向調査「住み続けるために重視する点」の年齢別集計において、「高齢者や障がいのある人が安心して暮らせること」の項目は、65歳以上の高齢者の方は非常に高いが、若い世代で高くないという点を、どういう風に見て、今後の施策に反映させていくのかというのが課題なのではないか。	基本目標1の施策の中で調整	3月22日	3月22日	石塚委員
4	委員会内	資料2	民間賃貸住宅への入居などに関して、他部署や関係団体との連携による取組みについては、色んな肩書や立場の人間一人一人が意識をもって、自覚をもって動かないといけない	今後の施策の検討の中で、福祉との連携も含めて施策を検討する。	3月22日	3月22日	森田委員 石塚委員 金子副委員長
5	委員会内	資料2	小金井市は平均すると緑が多い街であるが、それが地域によって点在化しているのではないか。緑がないところはどうか考えるか。	関係各課へ確認する。 みどりの基本計画に「みどりのまちづくりの基本方針」に基づきまちづくりを進める。特に、緑の多い地域については、計画内の拠点という考え方を持っており、緑の少ない地域では狭い空間での緑の創出などを考えている。	3月22日	3月22日 7月2日	金子副委員長
6	委員会内	資料2	空家とか老朽化した木造住宅が多い地域、自治会・町内会等への加入率が高い(低い)地域は分かるか。市全体の平均だけでなく、地域特性を検討していくべき。	地域ごとの特徴について、都市計画マスタープラン等と整理をさせていただいた上で改めて資料を示す。 別途資料を提出する。(空家等対策計画) また、自治会・町内会等への加入率については、担当課では全体の数値のみ把握しており、町丁分類を行っていないとのことでした。 町会の加入率は、令和2年10月1日時点で 世帯数61,738 加入世帯22,654 加入率36.69%です。	3月22日	3月22日 7月2日	金子副委員長
7	委員会内	資料2	障がいのある方についても、課題は大きいので、現状・課題や取り組みについて記載があった方がよい。	基本目標1の施策の中で調整	3月22日	3月22日	石塚委員 柳井委員
8	委員会内	資料4	誰もが住み続けられて、転出しなければいけない状況がないような取り組みが求められる。	施策の中で調整したい。	3月22日	3月22日	森田委員 榊原委員
9	委員会内	資料4	「無電柱化」には、体への影響、電磁波の問題などが、すごくあるのではないか。無電柱化計画は進められるのか。	すでに実施中の計画である。	3月22日	3月22日	柳井委員

第3回小金井市住宅マスタープラン策定委員会 意見対応シート

※セルに色をつけているところの回答は、7月2日の住宅マスタープラン策定委員会のときに説明します。

No	発言場所	資料	ご意見	対応	意見受領日	対応日	発言者
10	委員会内	資料4	「無電柱化」の体への影響について報告していただきたい。	担当課に報告し、確認します。	3月22日	3月22日	柳井委員
				担当課に確認したところ以下の回答があった。 (一財)電気安全環境研究所によると電力の商用周波数(50または60Hz)の電磁波は、人体に蓄積されず、また遺伝子を傷つける力はないとされています。さらに、地中配電線から出る磁界は国際的ガイドライン値を大きく下回っています。			
11	委員会内	資料4	住宅マスタープランにおいてハード面とソフト面の問題があると思うので、整理してわかりやすいようにしてほしい	整理していく。	3月22日	3月22日	土屋委員
12	委員会内	資料4	マンションの届出制度では長期修繕計画の有無や計画における収支のバランスは把握できるか。また、届出後のフォローがないと、段々老朽化が激しくなっていくのではないか。	東京都の管理状況届出制度に修繕計画が「ある・ない」というのがついている。「ない」場合には助言させていただく形で把握をさせていただくという仕組みになっている。(議事録P25)	3月22日	3月22日	榊原委員
13	委員会内	資料4	64ページ「地域コミュニティの形成支援に向けた取組」の中で、高齢者の見守り支援が示されているが、子どもや障がい者への支援についても検討していく必要があるのではないか。	基本目標1の施策の中で調整	3月22日	3月22日	石塚委員
14	委員会内	資料4	64ページの2-2-(2)-③に町会のこと書いてあるが、④でも町会・自治体のことが記載してあり、似た内容であるので、一つにまとめるという方がいいのではないか。	意味合いを分けるほど意味があるのか、統合しても支障がないのか、担当課に確認する。	3月22日	3月22日	柳井委員
				記載の目的が異なるため、分けて記載する。			
15	委員会内	資料4	町会への加入率は何パーセントくらいか。	市民意向調査では、「加入しており、活動に参加している」が14.3%、「加入しているが、活動には参加していない」が33.6%であり、併せて47.9%が活動に参加している。実際の数値が出せるか担当課に確認する。	3月22日	3月22日	委員長
				町会の加入率は、令和2年10月1日時点で世帯数61,738 加入世帯22,654 加入率36.69%です。			
16	委員会内	資料4	66ページの「防犯パトロール活動の支援」の内容に追加して、わんわんパトロールのように、地域の大人による子どもたちの見守りについて支援してほしい。	地域安全課と連携して検討する	3月22日	3月22日	柳井委員
17	委員会内	その他	委員会のスケジュールが決まるのは何か月前か	早めに連絡できるよう調整する。	3月22日	3月22日	榊原委員